

総監第 53 号

令和元年10月8日

総社市長 片岡 聡 一
総社市議会議長 加藤 保 博 様

総社市監査委員 風 早 俊 昭

総社市監査委員 小 西 利 一

財政援助団体監査の結果について（報告）

地方自治法第199条第7項及び同条第5項に基づき財政援助団体監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により報告します。

令和元年度

財政援助団体監査結果報告書

総社市監査委員

財政援助団体監査報告書

1 監査の期日

令和元年5月20日から6月12日まで

2 監査対象団体及び所管部署

団体名	所管部署名	監査対象	補助金
1 「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会	保健福祉部 こども課	「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会補助金	1,100,000円
2 総社市観光協会	産業部 観光プロジェクト課	総社市観光協会補助金 観光案内所運営委託料	2,954,000円 7,353,000円

3 監査の方法等

平成30年度に総社市が財政援助を行った団体のうち上記の団体について、補助金が交付目的に従って適正かつ効果的に執行されているかどうかの主眼を置いて監査を実施した。

監査に当たっては、対象団体及び所管部署から関係書類の提出を求め、当該書類の検査を行うとともに関係職員から説明を聴取し実施した。

4 対象団体の概要

1 「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会

(1) 設立目的

まち全体で子どもを見守り、育てていこうとする気運を醸成し、総社の地域性を生かしながら、市民・企業・市が協働して「子育て王国」づくりを目指すことを目的とする。

(2) 活動の内容

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 子どもの健康増進に資する事業
- ② 子どもを取り巻く環境づくりに資する事業
- ③ 子育てネットワークづくりに資する事業
- ④ その他、目的を達成するために実施する事業

2 総社市観光協会

(1) 設立目的

総社市及びその周辺地域の観光事業の向上発展を図り、観光産業の創出と発展及び文化の興隆に寄与することを目的とする。

(2) 事業内容

上記の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ① 観光道德の指導普及に関すること。
- ② 観光資源の開発及び整備に関すること。
- ③ 観光施設の整備促進に関すること。
- ④ 観光事業に関する調査研究と情報の収集に関すること。
- ⑤ 観光に関する研究会，講習会，展覧会の開催に関すること。
- ⑥ 観光特産品の改善及び郷土著名産物の紹介宣伝に関すること。
- ⑦ 観光地の宣伝及び紹介に関すること。
- ⑧ 郷土芸能の育成保存に関すること。
- ⑨ 地方公共団体等から委託を受けた施設の管理ならびに事業の施行に関すること。
- ⑩ 観光関係団体との連絡協調に関すること。
- ⑪ その他 本会の目的を達成するために必要な事業に関すること。

5 監査の結果

監査を実施した結果、当該補助金はおおむね適正に執行されていると認められたが、次の事項について改善を要するので、適切な措置を講ずるとともに適正な事務処理をされたい。

1 「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会

(1) 会計事務について

平成25年度実施の監査報告でも取り上げているが、経理事務については、事務局を担当しているNPO法人の1人が帳簿管理，1人が現金管理をしているとのことであった。それぞれの役割を明確にしながら収納・支払い事務等については、複数の人員により厳重なチェック体制を整えるよう望んでいた。この度、平成30年度から事務局は市こども課になっているが、依然として現金の執行については1人の事務局職員が全てを行なっている。規約に会計取扱事務についての条項などが存在せず、帳票作成や支払いの決裁などがされていなかった。実行委員会として公正，公平な執行を期するため，市の契約規則，財務規則等を参考にするなどにより，実行委員会としての取扱いを明確にされたい。

2 総社市観光協会

(1) 会計事務について

概ね現金の執行については適正に執行されていたが、支出命令書の記載内容と請求書の記載内容が違うなど再チェックにより防げた不備が数件見受けられた。チェック体制の強化及び職員のチェック意識の向上を図りたい。また、支出命令書に決済印が無いまま支出されていた。決済漏れの無いよう適正に処理されたい。

会則には会計取扱事務についての条項が存在せず、見積書の徴取や契約書の締結等についての基準が統一されていない。会として公正、公平な執行を期するため、市の契約規則、財務規則等を参考にするなどにより、会としての取扱いを明確にされたい。

6 監査委員の意見

「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会については、10年間の活動で当初の目的・目標を果たすことができていると、当面の役割は終えた感もある。今後は、「こども子育て会議」事業と共同した事業に見直すなど、事業の集約を図りたい。

総社市観光協会は、総社市及びその周辺の観光事業の向上発展を図り、観光産業の創出と発展及び文化の興隆に寄与することを目的に設立され、市及び観光関係団体と連携し、特産品の開発、特色ある観光の促進に繋がる事業を行うこととしている。

しかしながら、近年、市が企画した恒例のイベントの下請けと案内所の運営管理が主要な事業となっており、地域の特色を活かした新たな観光の促進には繋がっていない。

観光協会の財源内訳をみると、市からの補助金や、案内所の運営委託金などの依存財源と会員からの会費や案内所での絵葉書やコーヒー等の販売収益などの自主財源から成り立っており、その財源の多くは人件費に充てられ、新たなイベントなどを企画できる財源は確保されていないのが現状である。

近年、市からの補助金が減少する中、会員数や案内所での販売収益も減少しており、今までどおりの財源確保も困難な状況となっている。

人口減少・少子高齢化などの影響で観光地にとっても、今までとは異なる対応が迫られており、現在のままでは対応しきれない時代となっている。今後の観光協会の役割について、総社市と十分協議したうえで、観光協会の自主財源の確保と設立目的に沿った事業に取り組まされたい。